

1. 奉仕プロジェクト・財団合同セミナー開催の件



12月9日、筑西ダイヤモンドホールにおいて、高橋 DG, 中村 DGE, 池田 DGN, 保延直前 PDG にも御出席頂き、地区補助金の活用活性化を目的に、題記会議を開催しました。

第1に昨年度計画された高橋年度の実行期間にある現在、確実に実施報告書を期限内に提出する事。提出書類の軽微なミスも、提出クラブの責任で、きちんとした報告書を期限厳守で、提出する事。

第2に中村年度より2年間、地区補助金が、\$7,794 多く配分される事を考慮した使用計画を立てる事。

第3にシーリングの35%を超えない事。(地区財団監査時指摘事項。)

第4に小規模といえども VTT や奨学金も対象にする事。などを確認しました。

2. ネパール (D.3292) 防災教育の件



今年度グローバル補助金で計画して居た題記プロジェクトが、TRF より6つの重点分野に入らないとの事で、D.3292 の地区補助金の活用により、実施する事に成り、DG19666405 (仙台枠防災枠組リスク軽減基礎教育プロジェクト) が始まり、その検証の為、山間部の学校へ出向いた。教科書は、国連国際防災戦略機構 (193 か国加盟) が承認した "Sendai Frame-Work Natural Disaster Risk Reduction for Children" を採用、これをネパール語に翻訳し、配布した物である。

本プロジェクトは 2015 年にネパールで発生した M7.8 の地震により、多くの子供が亡くなった事を教訓に、何とかして自然災害による被災者を減らしたいと言う事から、取り組みが始まったもので、学童だけ

ではなく、先生、両親、行政などの関係者に災害予防から災害時の対応を学んでもらい、コミュニティーのレジリエンス (強靱性) を高め、ネパールの持続可能な発展に寄与する事を目標としています。

3. WCS 事業報告



防災教育事業に加え、今年度、下館 RC が中心に成り計画された、「学用品の贈呈」が行われました。2校を訪問したが、そのうち Jana Udaya Secondary School では、校庭の一角に 2820 地区内 20 クラブと大月 RC に現地のカスタマンドアップ RC が協力し、広さ 200 平方メートル、\$20,000 で建設した「茨城講堂」がありました。周囲の校舎と比較しても立派な作りで、協力したクラブ名を記した名盤が埋め込まれ、大切に活用されて居る様子を確認でき感激しました。

4. 野生株によるポリオ症例数

国	2018-1-1 ~ 12/18	2017	2016
パキスタン	8	8	20
アフガニスタン	21	14	13
ナイジェリア	0	0	4
赤道ギニア	0	0	0
合計	29	22	37

5. 年次基金寄付ゼロクラブ

12月20日現在で、当地区のゼロクラブが16クラブと財団ニュースに報告されて居ります。毎年年度一杯迄御協力のお願いが続きますが、是非高橋年度も「0クラブ零」に成ります様お願い致します。